



Topics

香川高専産業技術振興会役員会 及び総会を開催しました

令和4年9月13日(火)、高松国際ホテルにて、香川高等専門学校産業技術振興会役員会及び総会を開催しました。

総会では、会員企業他47名が出席し、住田博幸会長(株式会社レクザム取締役副社長生産本部長)及び田中校長の挨拶の後、第13事業年度の事業報告・会計報告および第14事業年度の事業計画・予算が審議され、承認を得ました。

3年ぶりの対面での開催となりましたが、感染対策に留意し、和やかな雰囲気の中で会を終えることができました。



株式会社レクザム
取締役副社長生産本部長
住田会長

CONTENTS

- 2 役員挨拶
- 4 総会報告
- 6 活動報告
- 9 香川高専の活動紹介
- 12 会則及び細則
- 14 役員名簿・会員名簿
- 16 事務局からのお知らせ



役員挨拶

会長挨拶

株式会社レクザム

取締役副社長 生産本部長

住田 博幸



会長を2018年9月に拝命して、早くも4年が経ちました。その年は、本会十周年記念の総会と併せて盛大な記念交流パーティが開かれ、楽しく過ごしたことが懐かしく思い出されます。

翌19年には、総会に加え講演会と交流会も開催。しかし、残念ながら20年には新型コロナの蔓延で、書面審査のみの寂しい総会に。21年にはオンライン開催の運びとなり、やっと22年9月に3年ぶりにリアルでの総会と講演会の開催にこぎ付けました。しかし、今回も遺憾ながら一番の楽しみ(?)の交流会までは、開催が叶いませんでした。また、この間は年間計画の行事も思う様な活動ができずに大変残念であり、一日も早く元の状態に戻れることを希っております。

また、今年になって降って湧いた《ロシアのウクライナ侵攻》や《急激な円安》による物価高騰等々、様々な問題が山積していますが、振興会の皆様方のご協力を賜りながら香川高専と共に発展していく所存ですので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

副会長挨拶

株式会社百十四銀行

取締役常務執行役員

金本 英明



この度、副会長を拝命しました百十四銀行の金本でございます。

全世界に蔓延したコロナ禍も「withコロナ, afterコロナ」の時代に移行しつつあります。

このコロナ禍で、人々の生活スタイルは一変し、働き方も大きく様変わりしました。

在宅リモートワークは当たり前となり、IoTなどの情報通信技術は、人々の暮らしを革新的に変化させました。これから社会のDX推進は加速度的に進展すると言われていています。

また企業においては、カーボンニュートラル、SDGsへの取組みが社会的使命とされ、対外公表と実践が企業価値の指標として注目されています。

様々な技術革新は、これからの地方創生において重要なキーフアクターになると考えます。本振興会の活動によって、地域の産学連携が更に深化し、サステナブルで豊かな地域社会が共創されることを心から願っております。

理事挨拶

株式会社香川銀行

常務取締役

川井 幸治



本年より理事を拝命しました香川銀行の川井と申します。よろしくお願いします。

現在の日本経済は、新型コロナウイルスによるダメージに対して、国の様々な施策による支援や産学官一丸となった努力により回復を目指している状況と言えます。また、その他の課題に目を向けますと、少子高齢化や人口の流出、物価高といった大きな問題が依然として残っています。このような環境条件の重なりから脱却するためにも、地方創生が強く求められていると考えております。

これらの問題を解決していくためには、地元産業界の生産力を高めて地方に仕事を創出すると共に、働ける環境づくりを整備していくことが最優先事項であると考えます。そして、地元企業の方々が問題解決の中心的役割を担っており、私ども地域金融機関は地元企業の方々をサポートする役割を担っていると思っています。

本会の活動を通して地方の経済発展に寄与できるよう尽力して参る所存です。何卒宜しくお願い申し上げます。

理事挨拶

鹿島建設株式会社
執行役員四国支店長

尾崎 美伸



この度、理事を拝命しました鹿島建設の尾崎でございます。

コロナ禍の長期化や目まぐるしく変化する国際情勢は、四国地域にも大きな影響を与えつつあります。加えて四国は全国に先駆けて人口減少や高齢化が進んでいる地域であり、これからの地域経済を担う若き担い手の育成が益々重要となってきます。

特に我々建設業は、後継者不足が懸念されている産業であるため、AIやICT技術を駆使して業界全体で生産性の向上に取り組んでいるところです。これからの若手技術者には、このような急激なデジタル化の波や地球環境に配慮した技術の変化への対応など、多種多様な能力が求められます。

このような環境の下、毎年貴重な「人財」を育て続けておられる香川高等専門学校殿及び本振興会に寄せられる期待は益々大きく、今後更なるご発展を心より祈念いたします。

理事挨拶

川田工業株式会社
橋梁事業部生産統括部四国生産部長

北村 正見



本年より理事を拝命しました川田工業株式会社の北村と申します。よろしくお願い申し上げます。KTI川田グループでは「安心して快適な生活環境の創造」を経営理念として掲げ、とりわけ弊社におきましては安全な社会基盤の整備・保全、ならびに橋梁および鉄構等の鋼構造物の建設を通じて、常に社会に貢献することを使命としております。

さて、昨今の建設業を取り巻く環境は、国土強靱化計画のもと防災および減災対策に取り組むなか、とりわけ橋梁等の重要構造物においては、笹子トンネル天井崩落事故を契機に膨大な橋梁の法定点検が義務付けられるなど、エンジニア不足が顕在化しております。

今後、エンジニアの育成が一層重要視されていくなか、地域保全の観点からも香川高専をはじめとした産官学の連携と協力が必要不可欠になるものと考えております。

本会設立の主目的であります“香川高専と地域産業界との連携を強め互恵のメリットを享受する”の趣旨に基づき、技能を担う人材の育成に寄与できるよう尽力してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

理事挨拶

四国電力株式会社
常務執行役員

石田 英芳



この度、理事を拝命しました四国電力の石田でございます。よろしくお願い申し上げます。火力発電分野を担当しており、石油・石炭・天然ガス等の燃料価格が高騰する中、「2050年カーボンニュートラル」への対応などの難しい課題に取り組みつつ、みなさまにお使い頂く電力の安定供給に日々努めています。

本振興会には四国電力に加え、弊社グループの四国総合研究所、四変テック、テクノ・サクセス、四電技術コンサルタントも参加しており、貴学を卒業された多くの方々が弊社グループの様々な部署で活躍されています。最近では、送電線点検ロボット（ディープラーニングによる送電線の損傷把握を含む）や画像診断によって火力発電所の設備異常を早期発見する試みなど、新たな分野でも貴学との共同研究に取り組んでいます。

今後も貴学と地域産業各社が連携を深め、相互に発展することを心から願っています。



総 会 報 告

日 時 令和4年9月13日(火) 午後3時25分～4時10分

次 第 1. 開会の辞

2. 会長挨拶 株式会社レクザム 取締役副社長生産本部長 住田 博幸

3. 校長挨拶 香川高等専門学校長 田中 正夫

4. 議 事 (1) 第13事業年度事業報告について (2) 第13事業年度会計報告について
(3) 第14事業年度事業計画について (4) 第14事業年度予算について
(5) 役員の選出について (6) その他

5. 閉会の辞

◎第13事業年度(2021年9月～2022年8月)事業報告について

I 産学連携による技術開発の推進, 地域産業の発展に関すること。

(1) シーズ発表会等の案内及び開催

II 技術に関する講演会, 講習会, 研修会などの開催及び情報誌の発行。

(1) 講習会, 研修会等の後援および案内

(2) イブニングセミナーの開催

(3) 教職員の会員企業訪問見学会

(4) 会報の発行

III 技術分野での技術相談, 情報交換に関すること。

(1) 共同研究・受託研究・技術相談の件数(令和3年度)

(2) 共同研究等推進支援事業による支援件数

IV 企業社員の研修等育成支援事業に関すること。

(1) 会員企業への出前講座

V インターンシップ, 共同教育に関すること。

(1) インターンシップの受入れ先(令和4年度) (2) 企業技術者による学生教育の実施 → 実績なし

VI 企業説明会・見学会, 卒業生による就職説明会に関すること。

(1) 仕事研究セミナーおよび合同企業説明会への参加 (2) 特別活動におけるキャリア教育

VII 香川高専の教育・研究の充実, 振興に関すること。

(1) サイエンスフェスタへの企業展示依頼 → 実績なし

(2) 発明コンテストの補助

(3) 香川県との連携による出前授業

(4) 香川県デジタル等を活用した大学づくり補助金事業による企業説明会

VIII その他, 本会の目的達成に必要な事業に関すること。

(1) 産業技術振興会HPのリニューアル

◎第13事業年度(2021年9月～2022年8月)会計報告について

【収入の部】

(単位:円)

事 項	収入額	概 要
前期繰越金	2,442,120	
会費収入	4,070,000	
その他収入	30	
合 計	6,512,150	

【支出の部】

(単位:円)

事 項	支出済額	概 要
講演会等実施経費	0	講師謝金及び旅費
技術者育成事業経費	96,752	研修受講料他
共同研究等推進支援事業経費	1,000,000	振興会共同研究等支援事業
就職説明会実施経費	275,000	パンフレット作成費
運営経費	1,032,250	HPリニューアル費他
次期繰越金	4,108,148	
合 計	6,512,150	

【会計監査報告】 会計監査人 アオイ電子株式会社 取締役社長 木下 和洋
会計監査人 株式会社石垣 取締役執行役員開発部長 片山 雅義

◎第14事業年度(2022年9月～2023年8月)事業計画について

- I 産学連携による技術開発の推進, 地域産業の発展に関すること。**
(1) シーズ発表会等の案内
- II 技術に関する講演会, 講習会, 研修会などの開催及び情報誌の発行。**
(1) 講演会等の開催(1回) (2) 講習会, 研修会等の案内・補助 (3) イブニングセミナー開催
(4) 研究交流会の案内 (5) 教職員の会員企業訪問見学会 (6) 会報の発行
- III 技術分野での技術相談, 情報交換に関すること。**
(1) 技術相談, 共同研究, 受託研究の促進 (2) 共同研究等推進支援事業の支援
- IV 企業社員の研修等育成支援事業に関すること。**
(1) 会員企業への出前講座の実施
- V インターンシップ, 共同教育に関すること。**
(1) インターンシップへの支援 (2) 企業技術者活用プログラム
- VI 企業説明会・見学会, 卒業生による就職説明会に関すること。**
(1) 仕事研究セミナーの開催 (2) 特別活動におけるキャリア教育の支援
- VII 香川高専の教育・研究の充実, 振興に関すること。**
(1) サイエンスフェスタへの企業展示依頼 (2) 発明コンテストの補助
- VIII その他, 本会の目的達成に必要な事業に関すること。**
(1) 振興会HPの維持管理

◎第14事業年度(2022年9月～2023年8月)予算案について

【収入の部】 (単位:円)			【支出の部】 (単位:円)		
事 項	予算額	概 要	事 項	予算額	概 要
前期繰越金	4,108,148		講演会等実施経費	170,000	講師謝金及び旅費
会費収入	4,070,000		技術者育成事業経費	956,000	企業技術者活用プログラム他
その他収入	30		共同研究等推進支援事業経費	1,000,000	振興会共同研究等支援事業
合 計	8,178,178		就職説明会実施経費	570,000	会場設営費他
			運営経費	1,563,200	会場借上料他
			予備費	3,918,978	
			合 計	8,178,178	

◎役員交代について

【第14事業年度】

I 副会長の交代について	(旧) 株式会社百十四銀行	取締役常務執行役員	藤村 晶彦 様
	(新) 株式会社百十四銀行	取締役常務執行役員	金本 英明 様
II 理事の交代について	(旧) 株式会社香川銀行	常務取締役	長町 亘洋 様
	(新) 株式会社香川銀行	常務取締役	川井 幸治 様
	(旧) 鹿島建設株式会社	常務執行役員四国支店長	吉田 英信 様
	(新) 鹿島建設株式会社	執行役員四国支店長	尾崎 美伸 様
	(旧) 川田工業株式会社	執行役員生産統括副部長	宮川 孝広 様
	(新) 川田工業株式会社	橋梁事業部生産統括部四国生産部長	北村 正見 様
	(旧) 四国電力株式会社	常務執行役員	太田 正宏 様
	(新) 四国電力株式会社	常務執行役員	石田 英芳 様



活動報告

◎シーズ発表会について

香川高専産業技術振興会会員企業との共同研究等の活性化を目的とした香川高専教員によるシーズ発表会を、令和4年9月13日（火）に高松国際ホテルで開催しました。

教員6名による共同研究実施事例とシーズ発表を行いました。ポスターセッションでは会員企業より積極的な問い合わせもあり、大変有意義な発表会となりました。

【題目一覧】

学科名	職名・氏名	題 目
電気情報工学科	准教授 村上 幸一	IoT技術を利用したEV充電の遠隔制御と電力分配の最適化手法
通信ネットワーク工学科	准教授 小野 安季良	28GHzメタサーフェス反射器の設計
機械電子工学科	准教授 石井 耕平	位置決め精度の高い全方向移動ロボットの開発
建設環境工学科	教 授 向谷 光彦	交差点歩道部の安全性を向上させるボラードの構造的改善に関する研究開発
建設環境工学科	准教授 柳川 良一	無線式モニタリングシステム（Water Minder）の実証試験
電子システム工学科	教 授 三崎 幸典	ビジネスゲームアプリの開発



◎特別活動におけるキャリア教育

令和4年7月15日（金）に香川高専機械電子工学科3年生を対象とした「学内企業説明会」を開催しました。講師として四変テック（株）ビジネスサポート室総務部 人事労務課長 横内 健一 氏と人事労務課 西川 大樹 氏をお招きし、会社概要等の説明をしていただきました。その後の質疑応答では学生からの率直な質問にも丁寧にお答えいただき、「働くとは」を知るための第一歩となる大変有意義な説明会となりました。



◎会員企業見学会について

令和4年8月26日(金)に、香川高専産業技術振興会会員企業見学会を開催しました。同見学会は振興会会員企業との産学連携や学生の進路などを考える機会として実施しているもので、今回は株式会社石垣を訪問しました。見学にあたり、会社概要のご説明をいただいた後、三つの工場を丁寧にご案内していただき、主力製品の製作と組み立ての現状などを見学させていただきました。

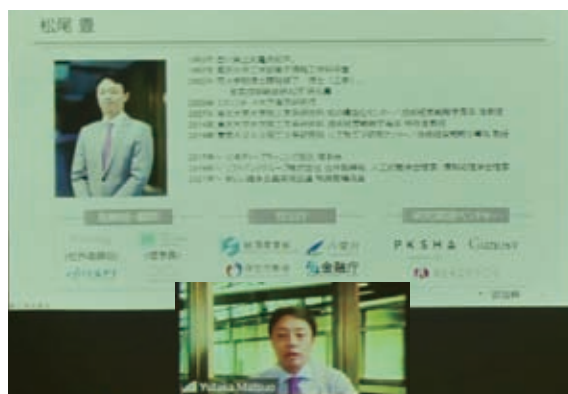
今回は両キャンパス併せて8名の教職員が参加し、この見学を通じて株式会社石垣の高い技術力を知ることができました。学生の進路や共同研究のきっかけ等、今後の取組みに有意義な時間となりました。



◎講演会について

令和4年9月13日(火)に、総会の日程に併せて講演会を開催しました。

オンラインで東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター 技術経営戦略学専攻 教授 松尾 豊氏による「AIのこれまでとこれから(過去未来)」と題した講演を、対面で株式会社FFRIセキュリティ 代表取締役社長 鵜飼 裕司氏による「近年のサイバー脅威のトレンドと対策」と題した講演を頂きました。





活動報告

◎イブニングセミナーの開催について

香川高専では、振興会会員企業と香川高専教員の交流を深め産学連携を推進するために、「イブニングセミナー」を定期的に開催しています。主に一般系、機械系、電気系、情報系、土木系、建設環境系に分け、話題提供者は、香川高専教員だけでなく会員企業の経営者又は技術者の方にもご協力頂いています。開催状況は次のとおりです。

お気軽にご参加頂く行事として今後も計画しますので、お時間の都合がございましたら是非ご参加ください。

第69回／令和4年8月30日(火) 12:50～15:10

講師：向谷 光彦 氏

岡林 宏二郎 氏(高知工業高等専門学校 教授)

本郷 隆夫 氏(一般財団法人地域地盤環境研究所)

話題：高専研究ネットワークの活動について

①最近の液状化実験による強度評価について

②液状化試験の実践的適用手法について

三軸試験と一面せん断試験による液状化試験の実務

第70回／令和4年10月7日(金) 10:50～12:00

講師：本郷 隆夫 氏(一般財団法人地域地盤環境研究所)

平野 浩 氏(一般財団法人地域地盤環境研究所)

話題：携帯型法面締固めデバイス「SOILPECKER」の原理について

携帯型法面締固めデバイス「SOILPECKER」の現場適用について

第71回／令和4年11月18日(金) 14:00～15:10

講師：向谷 光彦 氏

末松 吉生 氏(東栄商興(株)、マザーズロック研究会事務局)

話題：高専研究ネットワークの活動について

空積み式護岸ブロック工法の原理と実践について



◎インターンシップ概要と協力会員企業一覧

令和4年度における香川高専学生のインターンシップ参加学生数の合計は231名でした。そのうち62名を香川高専産業技術振興会会員企業(24社)に受入れしました。今後も香川高専インターンシップにご協力よろしくお願いいたします。

【インターンシップ派遣先一覧】

(50音順・学校がコーディネートしたものに限り)

会員企業名	参加人数	会員企業名	参加人数	会員企業名	参加人数
アオイ電子(株)	2	(株)四国総合研究所	1	(株)デンロコーポレーション	2
朝日スチール工業(株)	1	四国電力(株)	21	(株)トーコー	2
(株)石垣	5	四変テック(株)	1	(株)ヒロエンジニアリング	2
川田工業(株)	1	(株)ジャスト西日本	1	(株)ファイトロニクス	1
建装工業(株)	1	住友大阪セメント(株)四国支店	1	富士船舶装備(株)	1
(株)コヤマ・システム	3	(株)XEN GROUP	1	(株)フソウ	5
(株)サムソン	2	大成建設(株)四国支店	1	(株)四電技術コンサルタント	1
四国化工建設(株)	1	(株)タダノ	3	(株)レクザム	2



香川高専の活動紹介

◎コンクリート橋の非破壊検査の技術者向け見学会を開催しました

令和4年10月27日(木), 橋梁点検に関わる地方自治体職員, 民間企業技術者を対象に, 実習フィールドにてコンクリート橋のX線等を用いた非破壊検査技術に関する見学会を開催しました。

この見学会は, 香川高専社会基盤メンテナンス教育センターが所蔵する建設後約50年間供用されたコンクリート橋内部の健全性調査を行うこととなり, その作業の様子を技術者育成の機会として実施したものです。今回の見学会では, 普段ならば足場上や特殊な環境で行われるコンクリート内部の詳細調査が地上で間近で見られる貴重な機会となりました。この調査にあたっては株式会社ジャスト西日本様の全面協力のもと, RCレーダーによる鋼材位置を探索, PC鋼材をX線撮影した後, 暗室車両を用いてその場で現像し, 非破壊で内部の健全状態を確かめました。その後桁側面に孔をあけ鋼材の目視確認, コンクリートの中性化試験も行いました。見学会に参加した技術者の方からは「X線撮影は初めて見たので, 勉強になった。」「知識として自分たちの仕事にも生かしていきたい。」などの感想をいただきました。



◎第13回香川高専発明コンテストの表彰式について

令和4年10月24日(月)に高松キャンパスにおいて, 第13回発明コンテスト表彰式を実施しました。発明コンテストは, 技術者としての道を歩む柔軟な思考を持つ学生が, 知的財産活動により得られた新規アイデアの権利主張を行う経験を通じて自ら学ぶことを目的として, 毎年開催しています。

今年度は10件の応募があり, 書面による審査が行われ, 厳正な審査の結果, 4件8名が受賞となりました。

表彰式では, 最優秀賞(全国パテントコンテスト推薦賞), 優秀賞(香川高等専門学校産業技術振興会長賞), アイデア賞(地域イノベーションセンター長賞), 奨励賞の各賞について, 田中校長より表彰状および記念品が授与されました。





香川高専の活動紹介

◎技術講座の実施について

香川高専では、かがわ産業支援財団（新かがわ中小企業応援ファンド）と共催で製造技術の高度化やIT化の進展に対応できる人材の育成を図ることを目的とし、企業の中核として活躍が期待される技術者等を対象とした各種技術講座を実施しています。

最近の開催内容については以下のとおりです。

第1回【組込み技術セミナー（実力養成コース）】

講師：NPO法人組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会（SESSAME）三浦 元 氏

日程：令和4年9月1日～9月2日

- 内容：1. 開発課題と失敗事例の解説
2. 組込み向け構造化分析・設計（講義）
3. 組込みプログラミング（講義）
4. ソフトウェアテスト・レビュー（講義）

第2回【有限要素法解析入門】

講師：サイバネットシステム（株） 井上 岳 氏、香川高専 徳田 太郎 氏・高谷 秀明 氏

日程：令和4年9月5日～9月6日

- 内容：1日目・CAE入門 ・ANSYS EDの概要と基本操作
・実習1：静解析のモデル化と解析 ・トピックス講演
2日目・実習2：Workbenchを用いたモデル化と解析例1
・実習3：Workbenchを用いたモデル化と解析例2 ・質疑応答・技術相談会

第3回【GEO×STEAM講習会「①地盤の強度評価と地域環境」コース】

講師：（株）ナイバ 菅 秀哉 氏、四国ESDセンター事務局長 宇賀神 幸恵 氏、（株）ちよだ製作所 尾寄 哲夫 氏
香川高専 向谷 光彦 氏・荒牧 憲隆 氏・岡崎 芳行 氏

日程：令和4年10月31日

- 内容：1. 原位置の土の強さの評価
2. 身近な環境問題とSDGs, STEAM教育
3. メタン発酵プラント設備の概要
4. プラントの施設見学, 総合討論

第4回【GEO×STEAM講習会「②原位置の土壌評価・支持力の推定」コース】

講師：青葉工業（株） 栗原 弘光 氏 ランデックス工業（株） 中山 憲士 氏

香川高専 向谷 光彦 氏・荒牧 憲隆 氏・岡崎 芳行 氏

日程：令和4年11月28日

- 内容：1. 土壌汚染や土質試験の方法と結果の解釈
2. 簡易支持力試験機エレフトとAP杭の社会実装
3. 調査結果の整理と実務への適用, 実技・演習

第5回【組込み×AWS開発講座】

講師：桐畑 鷹輔 氏、浜名 将輝 氏

日程：令和4年12月18日

- 内容：・開発事例の紹介 ・Raspberry Pi上でnode.jsを用いた開発
・Raspberry Piに各種センサからのデータ取得 ・AWSクラウド連携（取得したデータの送信や通知）



◎特別講演会が開催されました

日 付	講演者	演 題
令和3年 12月9日	国土交通省 四国地方整備局企画部長 森本 輝 氏	四国地方整備局の業務と 社会資本整備の重要性



◎公開講座の実施について

社会人対象の公開講座を実施しています。今年度については以下のとおりです。

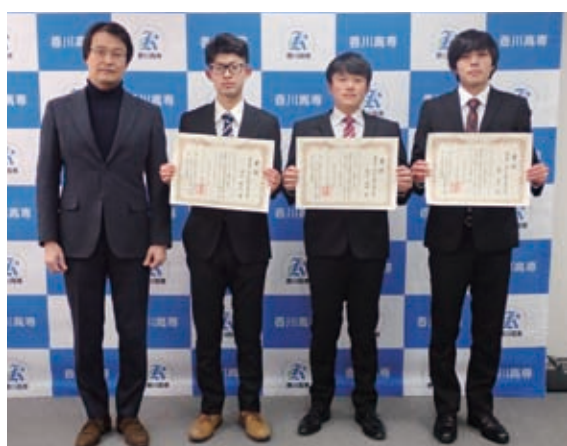
日 付	講 師	講座名
令和4年 9月6日～9月7日	香川高専 一般教育科 佐藤 文敏 氏	500点を目指すTOEIC Listening対策
令和4年 9月17日	香川高専 機械電子工学科 徳永 秀和 氏	PyTorchによるDeep Learning入門



◎パテントコンテストにおいて香川高専生が「優秀賞」および「新しい生活様式アイデア賞」を受賞しました

令和3年度のパテントコンテストにおいて、香川高専の専攻科1年生(現2年生)の岡田朋也君・新谷竜暉君・三野太洋君の3名が「優秀賞(特許出願支援対象)」および「新しい生活様式アイデア賞」を受賞しました。特に後者は全応募件数738件中の6件にのみ授与される特別賞のうちの1つであり、今回の応募作品が高く評価されたことを示しています。その後コンテストから派遣された弁理士の支援を受けながら特許出願を行いました。

今後とも香川高専は知的財産に関する教育を推進していく所存です。





会則及び会費に関する細則

香川高等専門学校産業技術振興会会則

(名称)

第1条 本会は、香川高等専門学校産業技術振興会と称する。

(目的)

第2条 本会は、地域産業界と香川高等専門学校（以下「香川高専」という。）との連携を深め、香川高専が有する人・知・物的資源を活用し、技術交流や情報交換等各種事業を通じ、地域産業の発展を図るとともに、香川高専の教育研究の振興に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 産学連携による技術開発の推進、地域産業の発展に関すること。
- (2) 技術に関する講演会、講習会、研修会などの開催及び情報誌の発行。
- (3) 技術分野での技術相談、情報交換に関すること。
- (4) 企業社員の研修等育成支援事業に関すること。
- (5) インターンシップ、共同教育に関すること。
- (6) 企業説明会・見学会、卒業生による就職説明会に関すること。
- (7) 香川高専の教育・研究の充実、振興に関すること。
- (8) その他、本会の目的達成に必要な事業に関すること。

(会員)

第4条 本会は、本会設立の趣旨に賛同する次の会員をもって組織する。

- (1) 法人会員 国内外の企業及び団体法人
- (2) 個人会員 本会の趣旨に賛同する香川高専卒業生等
- (3) 特別会員 大学、官公署、商工会議所等の公的機関、香川高専教職員

(役員)

第5条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 理事 若干名
- (4) 幹事 2名

(役員の選出)

第6条 役員は、総会において会員のうちから選出する。

(役員の任務)

第7条 会長は、本会を代表し本会の業務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し会長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3 理事は、本会運営に関する事項を処理する。
- 4 幹事は、会長を助けて会務を処理する。

(役員の任期)

第8条 役員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2 役員に欠員が生じた場合は、必要に応じて補充する。ただし、補充された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第9条 会議は、総会及び役員会とする。

(総会)

第10条 総会は、会員をもって構成し毎年1回開催する。

- 2 会長は、総会の議長となる。
- 3 総会において審議する事項は、次のとおりとする。
 - (1) 運営の基本方針に関すること。
 - (2) 事業計画並びに予算・決算に関すること。
 - (3) 役員の選出に関すること。
 - (4) 会則の改正に関すること。
 - (5) その他本会の目的達成に関すること。
- 4 総会は法人会員及び個人会員の過半数の出席（委任状を含む。）をもって成立し、議事は出席者（特別会員を除く。）の過半数の同意を以て議決する。

(役員会)

第11条 役員会は、第5条に定める役員をもって構成し必要に応じて会長が招集する。

2 会長は、役員会の議長となる。

3 役員会において審議する事項は、次のとおりとする。

(1) 本会の事業、会計及び運営に関すること。

(2) その他会務遂行上必要と認められること。

4 役員会は年度末に会務ならびに会計報告を作り、総会で会員の承認を受けなければならない。

(経費)

第12条 本会の運営経費は、会費、寄附金その他の収入をもって充てる。

(事業年度)

第13条 本会の事業年度は、毎年9月1日に始まり、翌年の8月31日に終わる。

(事務局)

第14条 本会は、香川高専地域イノベーションセンター内に事務局を置く。

(その他)

第15条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関して必要な事項は、役員会においてこれを定める。

附 則

1 この会則は、平成21年8月28日から施行する。

2 この会則施行後において最初に選任される役員の任期は、会則第8条第1項の規定にかかわらず、平成23年8月31日までとする。

3 この会則施行後の最初の事業年度は、会則第13条の規定にかかわらず、平成21年8月28日から平成22年8月31日までとする。

附 則

この会則は、平成21年10月1日から施行する。

香川高等専門学校産業技術振興会会費に関する細則

(目的)

第1条 この細則は、香川高等専門学校産業技術振興会の会費に関し、必要な事項を定める。

(会費の額)

第2条 会費は年会費とし、次の各号のとおりとする。

(1) 法人会員 3万円

(2) 個人会員 1万円

(3) 特別会員 免除する。

(納入時期等)

第3条 前条に定める会費の納入は、入会時及び毎年度(入会年度を除く。)9月末日までに納入するものとする。

2 納入された会費は、原則として返還しない。

附 則

この細則は、平成21年8月28日から施行する。

附 則

この細則は、平成21年10月1日から施行する。



役員名簿・会員名簿

役員名簿

令和4年12月1日現在

企業等名	職・氏名	役職
株式会社レクザム	取締役副社長 生産本部長 住田 博幸	会長
株式会社タダノ	取締役執行役員常務 澤田 憲一	副会長
株式会社百十四銀行	取締役常務執行役員 金本 英明	副会長
アオイ電子株式会社	取締役社長 木下 和洋	理事
株式会社石垣	代表取締役社長 石垣 真	理事
株式会社香川銀行	常務取締役 川井 幸治	理事
鹿島建設株式会社	執行役員 四国支店長 尾崎 美伸	理事
川田工業株式会社	橋梁事業部生産統括部四国生産部長 北村 正見	理事
株式会社四国総合研究所	代表取締役社長 松本 真治	理事
四国電力株式会社	常務執行役員 石田 英芳	理事
四国旅客鉄道株式会社	常務取締役 鉄道事業本部長 長戸 正二	理事
三和電業株式会社	代表取締役会長 山地 真人	幹事
香川高等専門学校	副校長 澤田 功	幹事

会員名簿 (50音順)

令和4年12月1日現在

法人会員

アオイ電子(株)	(株)クシベウィンテック
(株)赤松商店	建装工業(株)
朝日スチール工業(株)	小出鋼管(株)
(株)朝日段ボール	(株)香西鉄工所
ADAPTEX(株)	(株)鴻池組
(株)石垣	(株)五星
泉鋼業(株)	(株)コヤマ・システム
(株)ウズマキ	坂出機工(株)
(株)エイト日本技術開発	(株)サムソン
(株)OA.システムシャープ	三協エンジニアリング(株)
(株)大矢根利器製作所	讃光工業(株)
オリエンタルモーター(株) 高松国分寺事業所	三和エレクトロニクス(株)
(株)香川銀行	三和電業(株)
香川シームレス(株)	(株)シアテック
鹿島建設(株)	(株)シーマイクロ
カトーレック(株)	(株)ジェイアール四国コミュニケーションウェア
(株)川上板金工業所	四国化工建設(株)
川崎地質(株) 四国支店	(株)四国総合研究所
川田工業(株)	(株)四国電子計算センター
木下製粉(株)	四国電力(株)
錦城護謄(株)	四国旅客鉄道(株)

法人会員

(株)システムデザイン
四変テック(株)
島産業(株)
(株)ジャスト西日本
伸興電線(株)
住友大阪セメント(株) 四国支店
セキ(株)
セッツカートン(株)
(株)セリックス
(株)XEN GROUP
(株)総合開発
第一衛材(株)
大成建設(株) 四国支店
大豊産業(株)
太陽サカコー(株)
高松産業(株)
高松帝酸(株)
(株)タグチアシスト
(株)竹中土木 四国支店
(株)タダノ
(株)タダノエンジニアリング
(株)タダノシステムズ
タチバナ工業(株)
(株)ダックス
田村ボーリング(株)
(株)チェリーコンサルタント
(株)地圏総合コンサルタント
中央開発(株) 四国支店
(株)中部コンサルタント
(株)ちよだ製作所
筒井鉄工(株)
テクノ・サクセス(株)
(株)デンロコーポレーション
東亜合成(株) 坂出工場
東京ガスネットワーク(株)
東京水道(株)
東洋建設(株) 四国支店
(株)東洋製作所
東洋炭素(株)
(株)トーコー
(株)ナイバ
(株)長峰製作所
南海プライウッド(株)
(株)南條工作所
西尾レントオール(株) 四国営業部
(株)日建技術コンサルタント 四国支社
日清オイリオグループ(株)
(株)日進機械
日東河川工業(株)
日東電工(株)

(株)NIPPO 四国支店
日本基礎技術(株)
日本工営(株) 四国支店
日本興業(株)
日本国土開発(株) 四国営業所
長谷川体育施設(株)
(株)パブリック
(株)パル技研
(株)ビットコミュニケーションズ
(株)百十四銀行
(株)ヒューテック
(株)ヒロエンジニアリング
(株)ファイトロニクス
富士船舶装備(株)
(株)藤田商店
(株)FUJIDAN
(株)フソウ
(株)プレックス
(株)ベネアス
(株)マオカ設計
(株)マキタ
(有)正木鉄工所
(株)増田地質工業
松内建設(株)
丸重商事(株)
(株)三井E&Sマシナリー
三菱電機エンジニアリング(株) 丸亀事業所
三村鉄工(株)
(株)村上組
(株)村上製作所
(株)森川ゲージ製作所
山城金属(株)
(株)大和製作所
(株)四航コンサルタント
(株)四電技術コンサルタント
ライト工業(株) 四国営業所
(株)レクザム
(株)ワイイーエス
(株)ワイジーテック

個人会員

関 丈夫
中野 典之
細川 敏弘
三谷 朋幹
山内 守

特別会員

(公財)かがわ産業支援財団



事務局からのお知らせ

1

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」に認定されました

香川高専の教育プログラム「データサイエンス・AI教育プログラム」が、文部科学省による「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に認定されました。

同認定制度は、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、かつ、数理・データサイエンス・AIを適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成するため、数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行う教育プログラムを文部科学大臣が認定及び選定して奨励するものです。これにより数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な能力の向上及びその機会の拡大を図ることを目的としています。

香川高専では、当プログラムを全学科共通の1～3年生までの必修科目で構成しており、3年修了時には数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を受けることができるプログラムとなっています。詳細は下記よりご覧ください。

https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/suuri_datascience_ai/suuri_hyousi.pdf

2

サイエンスフェスタ2022を開催しました

令和4年11月5日(土)、6日(日)の2日間、高松キャンパス第二体育館において、皆楽祭(学生祭)と同時開催で「サイエンスフェスタ2022in香川高専高松キャンパス～見て・作って・おもしろ科学～」を開催しました。

サイエンスフェスタでは香川高専教職員による科学や技術をテーマとしたブースの出展や、香川高専生による低学年PBL(課題解決型学習)科目であるプレ研究の中間発表も行いました。出展協力として本会特別会員のかがわ産業支援財団様にもご出展いただきました。

3年ぶりの開催となりましたが、小中学生をはじめ本会員の皆様など2日間で延べ3,100人を超える方々にお越しいただき、大盛況のうちに終了しました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



3

技術講座予定

日程：令和5年1月予定

講座名：(仮) GEO×STSEAM講習会「③土中水の透水性の決め方」コース

講師：未定

編集後記

感染症対策が標準となりつつある中、第14事業年度は3年ぶりに対面での役員会・総会・講演会を開催することができました。また交流会の代わりにお土産をお渡しさせていただきましたが、ご意見や状況に合わせて対応していきたいと思います。

大きく変わったままのものも多いですが、新しい生活様式を踏まえた上で復活する行事があると嬉しく感じます。会報及び産業技術振興会に対するご意見、ご希望等がございましたら、お気軽にお寄せください。

今後ともよろしく願いいたします。

香川高等専門学校産業技術振興会

〒761-8058 香川県高松市勅使町355

香川高専総務課 研究協力係

TEL:087-869-3865・3818

FAX:087-869-3819

E-mail:kenkyu@t.kagawa-nct.ac.jp

<https://www.aip-kagawa-kosen.org/>

